



## 令和3年度 発達障害者地域支援マネジャー全国会議開催要綱

### 1 目的

発達障害者地域支援マネジャー（以下「地域支援マネジャー」という。）は、「市町村支援」「事業所支援」「医療機関連携」など、地域支援機能を強化することを目的として、平成26年度から各地域での配置が進められてきている。地域の実情により配置の方法・人数はさまざまであり、他の業務との兼務で行っている厳しいところもある。

地域支援機能の強化には、高いスキルと多くの情報が必要とされることから、全国の地域支援マネジャーが一堂に会して成果報告・意見交換を行う場として本会議を開催することで、地域支援マネジャーのさらなる資質の向上及び地域づくりのきっかけとし、有機的なネットワークを構築して行くことを目的とする。

### 2 主催

国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部 発達障害情報・支援センター

### 3 日時及び開催方法

日 時：令和3年12月3日（金） 9：00～16：30

開催方法：Web 開催

### 4 対象者

地域支援マネジャー（配置予定を含む）、発達障害者支援センターで地域支援を担う職員、都道府県及び指定都市の行政担当者

### 5 定員

200名

### 6 参加費

無料

### 7 参加申込

以下のURLより申込みをお願いします。 ※申込期限：令和3年11月19日（金）

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfwyGF5uHaZD8IShkaMQGkVL2PEr9QlsY8mtZxEaOihfoV79g/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfwyGF5uHaZD8IShkaMQGkVL2PEr9QlsY8mtZxEaOihfoV79g/viewform?usp=sf_link)

## 8 日程・内容

テーマ：「地域支援マネジャーの効果的な地域づくりについて」

時間	内容	備考
8：45～	入室開始	
9：00～	開会 ・主催者挨拶 発達障害情報・支援センター長 西牧 謙吾 ・オリエンテーション（情報提供「発達障害ナビポータル」）	
9：10～	行政説明 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 発達障害対策専門官 加藤 永歳	
9：20～	基調講演「地域特性に応じた支援ネットワーク構築」 鳴門教育大学 発達臨床センター所長 徳島県（発達障がい者総合支援センター）地域支援マネジャー 小倉 正義	講演90分
10：50～	質疑応答	10分
11：00～	休憩	
11：10～	グループワーク 自己紹介	50分
12：00～	休憩 グループコミュニケーションタイム（自由参加）	
13：00～	事例提供1 岐阜県発達障害者支援センター 発達相談員 石川 里美	報告15分 質問15分
13：30～	事例1 グループワーク	45分
14：15～	事例1 グループ発表	15分
14：30～	休憩	
14：35～	事例提供2 札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる 地域支援マネジャー 石田 昭人	報告15分 質問15分
15：05～	事例2 グループワーク	45分
15：50～	事例2 グループ発表	15分
16：05～	休憩	
16：10～	総評 鳴門教育大学 発達臨床センター所長 小倉 正義	20分
16：30	閉会	

## 9 問い合わせ先

〒359-8555 埼玉県所沢市並木 4 丁目 1 番地

国立障害者リハビリテーションセンター

企画・情報部 発達障害情報・支援センター 発達障害支援推進官 泉 浩平

TEL 04-2995-3100（内線 2595） E-mail [izumi-kouhei@rehab.go.jp](mailto:izumi-kouhei@rehab.go.jp)

## インシデントプロセス法を取り入れた事例検討

インシデントプロセス法とは、インシデント（実際の事例、出来事）をもとに、参加者が事例提供者に質問することで出来事の背景や原因となる情報を収集し、問題解決の方策または、対象者の理解を深めるために考えていくものです。この事例検討会を行うことで、支援についての様々なアイデアを共有することができます。

### 《インシデントプロセス法を取り入れた事例検討会で期待される効果》

- 課題解決のための判断力や問題解決力を養うことができる
- 情報の収集や分析の重要性を理解できる
- 討議の過程を通じて、参加者が互いの意見を傾聴し、話し合い、共に考えることの重要性を理解できる

## インシデントプロセス法の事例検討の流れ

### (1) 役割の確認 (午前中)

- グループで司会進行、書記、発表者を各事例の2組決めておく。

### (2) インシデント提示 (15分)

- 事例提供報告  
(困っている出来事、課題としていることを発表する。)

### (3) 質問 (15分)

- 参加者は提供者に質問して多くの情報を収集する (家族構成、家庭環境、成育歴、趣味等)
- 提供者は分からないことは「分からない」と答える。憶測は言わない)

### (4) グループワーク (45分) ・ 発表 (各5分)

こんなことに困ってます

家族構成は？



普段は何をされていますか？



通勤の仕方は？

仲のいい方はいますか？



好きな食べ物は何ですか？



◇◇な支援で安心感が持てるかとの意見にまとまりました

